

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名	敬老事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2 福祉の健康	所属部	健康福祉部	課長名 大山 由紀美
	施策	7 高齢者の自立と支援体制の充実	所属課	高齢者支援課	担当者名 三谷 三恵
	施策の柱	25 高齢者の社会参加の促進	所属班	包括支援センター班	(内線) 1623
予算科目	会計一般	款 3 項 1 目 4 事業連番 10436 他 根拠法令	合志市敬老事業実施補助金交付要綱 合志市百歳の高齢者に対する敬老祝		成果優先度評価結果 : ④ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>多年にわたり社会の発展に寄与して来られた高齢者を敬愛するための敬老事業を実施する行政区・施設に対して、その経費の一部を補助する。また、百歳表彰及び金婚表彰についても当事業で行う。</p> <p>〔経緯〕平成14年度、行政主催の敬老祝賀会(式典方式)から敬老事業を実施する行政区等への補助金交付方式に変更した。※高齢者(参加対象者)が増加したため、弁当等の手配等で混乱を来すようになった。平成19年度、補助金算定単位(人数加算)の対象年齢を70歳以上から75歳以上に上げた。※高齢者(対象者)が多くなったため。平成25年度、百歳敬老祝金贈呈事業及び金婚表彰事業を本事業へ統合。</p> <p>〔補助金の算出〕(1)定額補助(1行政区あたり10,000円)と(2)人数加算(75歳以上の高齢者数に1人あたり700円を乗じた額)の合計額。※敬老事業に要した実支出額が少ない場合は、その額。行政区に該当しない施設等については人数加算のみ。</p>
【業務の流れ】	<p>【敬老事業】①住民登録から行政区毎の75歳以上人口を把握 ②区長・施設長に補助金交付申請書を送付 ③申請に対して補助金交付決定通知書を送付 ④敬老事業実施後提出された実績報告書を審査 ⑤補助金の支払い</p> <p>【金婚表彰事業】①当該年度の金婚夫婦該当者を把握するため、区長便により回覧・申請 ②金婚夫婦表彰伝達式(例年9月)の案内送付、実施 ③伝達式欠席者へ表彰状受け渡し(両庁舎、各支所) ④伝達式参加者へ記念品(集合写真)の送付</p> <p>【百歳敬老祝金贈呈事業】①当該年度の百歳高齢者を調査・把握 ②誕生日に訪問し、お祝いメッセージ・祝金の贈呈</p>
【主な予算費目】	報償費、需用費、負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】	<p>敬老事業を実施しない行政区があり、特に高齢者数が10人未満の行政区は実施しない場合が多い。</p> <p>金婚夫婦表彰に関して、H29年度より新聞掲載を表彰の要件としたため申請時の誤解や混乱は無かった。今年度は各戸回覧(区長取りまとめ)による申請に加え、窓口・電話でも受け付け可能とした。しかし「回覧による申請を行ったが、新聞掲載が無かった」「(区長が)取りまとめによる提出を忘れていた」「組長のところでとまっていた」など漏れがあり、引き続き申請方法の検討が必要である。</p>

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	・敬老事業実施補助金の交付(交付申請80区、うち交付済み78区、未実施による交付辞退2区)・金婚夫婦の表彰(全93組を表彰。9/8に熊日共催で伝達式を実施し、66組が参加。参加者には後日記念品として式典時の写真を送付した。式典欠席者は庁舎・支所の窓口にて受け渡した。)・百歳祝金の贈呈(対象者20人。祝い状・表彰状額および祝金10万円を本人・家族に手渡した。)・内閣総理大臣表彰(百歳)の伝達(対象者22人)	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 補助金交付申請団体数	イ:	百歳を迎える高齢者の減少に伴う百歳祝金(報償費)の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	多年にわたり社会の発展に寄与して来られた高齢者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
→ ア:	イ:	ア: 75歳以上の高齢者 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	長寿を祝いその労をねぎらうとともに、市民の敬老思想および高齢者の生活意欲の高揚を図る	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
→ ア:	イ:	ア: 敬老事業への参加者数 人
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
敬老会の実施・参加することで長寿を祝うことが出来るので、敬老事業への参加者数とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込
① 活動指標	ア 件	イ	78	80	80	78	80	80	78	78
② 対象指標	ア 人	イ	6,184	6,401	6,626	6,613	6,811	6,996	7,181	7,366
③ 成果指標	ア 人	イ	3,907	4,668	4,200	4,334	4,200	4,200	4,200	4,200
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	7,050	6,811	8,609	7,567	7,582	8,609	8,609	8,609
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	0	5	6	5	6	6	6	6
	延べ業務時間	時間	0	230	360	340	360	360	360	360
	(B) 人件費計	千円	0	0	1,434	1,345	1,434	1,434	1,434	1,434
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,050	6,811	10,043	8,912	9,016	10,043	10,043	10,043

事務事業名	敬老事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 各区で敬老事業を実施することで、長寿を祝いその労をねぎらうとともに、市民の敬老思想および高齢者の生活意欲の高揚を図ることができた。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 高齢化により参加対象高齢者数が増加するため、参加者数も増加すると思われる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 75歳以上の高齢者数は増加しているが、全員が敬老事業へ参加できるものではないため参加者数が大きく伸びる見込みはない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人数加算における75歳以上の高齢者数は今後も増加すると考えられる。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付事務に係る必要最少の業務時間数である
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 老人福祉法第13条第2項 (老人福祉の増進のための事業) において、「地方公共団体は、老人の福祉を増進することを目的とする事業の進行を図るとともに、当該事業を行うものに対して、適当な援助をするように努めなければならない」と位置づけられている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 上記の法に基づき、高齢者に敬意を表す事業への補助金交付事務は、市が行なわなければならない事務である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

高齢者の方には、身近な地域の中で祝福を受けることで、生きがいを感じ、健康で長生きの意識の向上が図られた。また、地域で敬老事業を実施することにより、市民の高齢者に対する敬老意識の向上も図られた地域の活性化にもつながっている。

敬老事業の地域における実施体制も定着しており、現行での維持が望ましいと考える。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>引き続き実施する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						